

県内有数の生産地「碧南市」で

赤シソ収穫スタート！

【5月下旬に碧南市内で収穫風景をご紹介します】

JAあいち中央碧南しょうが・しそ部会（部会長：伊藤正敏）が栽培する赤シソの収穫が、5月下旬から始まります。当JA管内の碧南市は県内有数の赤シソの生産地で、和歌山県など梅産地の出荷ピークに合わせて出荷します。

赤シソの多くは、梅干しの色付けとして使われますが、この地域では、家庭で気軽にできる「赤シソジュース」の材料としても使用されます。鮮やかな赤色をした赤シソジュースは、爽やかな香りと酸味が今からの季節にピッタリです。

梅干しやジュースを作るとき、手間が掛かるのがシソの軸取り作業。同部会では、出荷基準に軸の長さを設けており、作業の際は、できるだけ浅く刈るように呼びかけています。市場からは「碧南の赤シソは軸が短いので、消費者からも喜ばれている」と、高い評価をいただいています。



茶刈り機で刈り取りします

赤シソの収穫から出荷まで

赤シソの収穫は、朝6時30分頃から始めます。

専用の機械（茶刈り機）で、軸が入らないように浅めに刈り取り、水洗いします。水洗いした赤シソは、JA碧南東部営農センターに持ち込み、葉を傷めないようにネットに入れて機械で脱水します。その後、軸の長さを確認しながら袋詰めし、出荷します。

鮮度を保つため、予冷処理して保冷車で運びます。



脱水作業の様子

JAあいち中央碧南しょうが・しそ部会

- 部 会 員：9人
- 栽培面積：約14ヘクタール
- 総出荷量：約130トン
- 出荷時期：5月下旬～7月上旬
- 日 量：約1,500ケース（1ケース/300g×10袋）
- 流 通 先：中京市場（名古屋・岐阜）を中心に、関西・関東・北陸地方へ出荷しています。

<今年の生育状況>

3月中旬から4月上旬の播種期の気温が低く、発芽遅れが散見されましたが、4月中旬以降、気温の高い日が増えたことから、そろって発芽しました。今後の気温の上昇とともに例年並みの生育となる見込みです。

<メディア対応日>

- 日 時：2025年5月下旬（予定）
 - 集合場所：JA碧南東部営農センター（碧南市照光町5-27）（予定）
- ※当日は、碧南市内で赤シソの収穫風景（車で約10分移動）の撮影や、生産者にインタビューしていただけます。脱水作業（碧南東部営農センター）も撮影いただけます。
- ※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

- JAあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（山村、杉浦、細井）
- TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853（山村）／E-mail：kouhou@jaac.or.jp